

アメリカ穀物協会が収穫に焦点を当てた最終3作目の2015年 トウモロコシ生産ビデオシリーズを公開

アメリカ穀物協会は、2015年トウモロコシ生産についての最終3作目のビデオをオンラインで公開しました。このビデオではアイオワ州、ミネソタ州、テキサス州の収穫に焦点を当てています。

<http://tinyurl.com/cornharvest15>にてオンラインで公開

12月の米国農務省の世界農業需給予測(WASDE)報告では、米国のトウモロコシ生産量は136億ブッシェル(3億4,550万トン)に達すると推定しています。これは史上最高ではないものの、豊作であり、品質も多くの点で最高の部類に入ることです。

テキサス州では、トウモロコシ農家は初期の天候に悩まされました。テキサス州のトウモロコシ農家であるチャド・ウェツェル氏は「天候は順調とは言えませんでした。春先は雨がが多く作付が遅れましたが、最終的には単収も改善し、収穫は平均以下ではあるものの、それほど悪いものではありませんでした。」と語っています。

コーンベルトの北部のミネソタ州のトウモロコシ農家ゲーリー・ピューラス氏も、天候が最終的なトウモロコシ生産に大きな影響を与えたと言っています。

彼によれば、「4月のとても早い時期の作付で始まった生育期には、タイムリーな降雨にも恵まれました。しかし、7月24日を最後にその後は雨が50ミリしか降りませんでした」とのことです。

少ない降雨量にもかかわらず、ピューラス氏のトウモロコシの単収と品質は高く、1エーカー当たり155から185ブッシェル(1ヘクタール当たり9.7から11.6トン)でした。ウェツェル氏もピューラス氏も種子の遺伝的改良が最終的に高かった単収に貢献したとしています。「今年のトウモロコシの容積重がとびぬけてよいのも、種子の遺伝的性質によるものでしょう」とウェツェル氏は述べています。


収穫後、米国のトウモロコシ農家の多くが穀物を販売するまで農場内のサイロに保管しておきます。この保管期間中は、品質を注意深く管理します。


ウェツェル氏は、「秋から冬にかけてサイロ中のトウモロコシのサンプルを取り、害虫がいないこと、適切な温度で保管されていることを確実にモニターします。問題が見つかった際には、どのような問題についても、必要な手段を用いて解決します」と述べています。


米国产トウモロコシの購入を検討している方のために、アメリカ穀物協会ではウェブサイト <http://grains.org/buyingselling/corn/commercial-grain-exporters> で、穀物輸出業者のリストを公開しています。また、アメリカ穀物協会のスタッフも、世界の穀物貿易に関するお客様のご質問にお答えします。■

U.S. Grains Council

Email: grains@grains.org
www.grains.org

 @usgc

 /usgrainscouncil

 /usgrainscouncil

U.S. Headquarters

20 F Street NW
Suite 600
Washington, D.C. 20001
207.789.0789 TEL
202.898.0522 FAX

アメリカ穀物協会

日本事務所

〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-2-20
第3虎の門電気ビル11階
TEL: 03-6206-1041
FAX: 03-6205-4960

Developing
Markets.

Enabling
Trade.

Improving
Lives.